

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	1 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出			
施策の方向性	② ターゲットの的確な把握と効果的な誘客プロモーションの展開			
事業名	冬季誘客促進事業	事業年度	R6 R8	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	誘客推進課	
チーム名	調整・国内誘客チーム			

1 事業実施の背景及び目的

本県の大きな課題として、季節による繁閑差解消に向けた冬季観光の振興が挙げられることから、観光関係者や交通事業者等と連携して秋田の冬の魅力を発信し、冬季誘客の促進を図る。

2 事業概要及び財源

(単位: 千円)

	事業内訳	概要	令和6年度 予算額	令和5年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	JR東日本重点販売キャンペーン等実施事業	JR東日本の重点販売地域に指定されたことを受け、首都圏等に向けた大規模観光キャンペーンを実施する。	55,945	0	
2	食を活用した冬季誘客促進事業	旅行会社のウェブサイトにも食を活用した冬季宿泊プランの特設ページを掲出し、重点販売キャンペーンと連動したプロモーションとして県内外に広く周知する。	7,237	0	
3	体験型コンテンツを活用した冬季誘客促進事業	冬季に観光関連事業者が提供する体験型コンテンツの料金割引サービスを実施するとともに、キャンペーンサイトやウェブ広告等による広告宣伝を展開する。	251,175	0	
4	冬季誘客に向けた観光バス利用促進事業	冬季誘客促進のため、貸切バスの利用料金の割引サービスに要する経費を補助する。	16,500	0	
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	330,857	0	0
国庫補助金	物価高騰対応重点支援地方臨時交付金		267,675		
県債					
その他					
一般財源			63,182	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	12月～2月の延べ宿泊者数(人泊)【成果指標】									
指標式	延べ宿泊者数									
出典	観光庁「宿泊旅行統計調査」									
把握時期	翌年度6月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								718,000	718,000	718,000
実績b					534,170	566,980				
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	1 「何度でも訪れたくなるあきた」の創出			
施策の方向性	⑤ 戦略的なインバウンド誘客の推進			
事業名	インバウンド拡大に向けた誘客促進事業	事業年度	R6 R7	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	誘客推進課	
チーム名	国際誘客チーム			

1 事業実施の背景及び目的

インバウンド誘客の拡大に向け、台湾便の安定的な運航や利用促進を図るとともに、タイや欧州のほか、冬季誘客が期待できる国・地域における情報発信を強化する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和6年度	令和5年度	最終年度
			予算額	決算(見込)額	決算(見込)額
1	台湾誘客促進強化事業	タイガーエア台湾及び現地旅行会社に対し、運航経費や旅行商品造成費への支援を行うほか、各種プロモーションを実施する。	372,761		
2	重点市場における誘客拡大事業	重点市場のタイと欧州において、冬季コンテンツや食とアート等のテーマを中心に、地域特性に応じた効果的な情報発信を行う。	30,118		
3	冬季誘客に向けた情報発信事業	雪国ならではの食・文化やスキー場及びスノーアクティビティの魅力、冬季誘客が期待できる国・地域に対しSNSやメディアを通じて発信する。	19,099		
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			421,978	0	0
左の説明					
国庫補助金	デジタル田園都市国家構想交付金(活用予定を含む)		70,488		
県債					
その他	諸収入		15		
一般財源			351,475	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	海外向けSNSフォロワー数(人)【業績指標】									
指標式	海外向けに情報発信を行っているSNSフォロワー数の合計									
出典	誘客推進課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								160,294	171,594	
実績b						136,345	149,094			
b/a								0.0%	0.0%	

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	1 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出			
施策の方向性	⑤ 戦略的なインバウンド誘客の推進			
事業名	台湾便交流促進事業	事業年度	R6	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	誘客推進課	
チーム名	国際誘客チーム			

1 事業実施の背景及び目的

秋田空港発着の台湾便を活用した台湾・秋田間の交流促進を図るとともに、秋田空港の受入環境の整備等を進めることにより、路線の維持を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和6年度	令和5年度	最終年度
			予算額	決算(見込)額	決算(見込)額
1	台湾便県民利用促進事業	秋田空港発着の台湾直行便を往復利用し、台湾の民間団体等と経済・文化・スポーツ・教育等における交流促進を図るための渡航に対して助成を行う。	2,000		
2	受入環境整備事業	台湾便を利用し来県した外国人旅行者等へのお出迎えを実施することで、満足度向上、リピーター獲得を図る。	1,680		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	3,680	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			3,680	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	台湾人宿泊者数(人泊)【成果指標】									
指標式	台湾人宿泊者数									
出典	観光庁「宿泊旅行統計調査」									
把握時期	翌年度6月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								29,750	59,500	59,500
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	台湾チャーター便(タイガーエア台湾)搭乗者数(発着合計)(人)【成果指標】									
指標式	台湾チャーター便(タイガーエア台湾)搭乗者数									
出典	秋田空港管理事務所「秋田空港利用状況」									
把握時期	翌年度4月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								33,696	33,696	33,696
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	2 「美酒・美食のあきた」の創造			
施策の方向性	③ 多様な流通チャネルを活用した県産食品の販売の促進			
事業名	あきたの食プラットフォーム構築事業	事業年度	R6	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	食のあきた推進課	
チーム名	まるごと売込みチーム			

1 事業実施の背景及び目的

食品バイヤーや消費者が県内食品事業者の商品や加工技術等の情報を総合的に見られる仕組みがなく、情報基盤の整備が課題となっている。県内外の食品バイヤー及び消費者の多様なニーズに対応するため、県内食品事業者とその商品のほか、バイヤーや消費者の情報等の集約と活用を進めるプラットフォームを構築し、県産加工食品の販路拡大を支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和6年度 予算額	令和5年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	あきたの食情報基盤構築事業	食品関係事業者及び消費者向けの情報基盤を整備するため、県内食品事業者や商品情報等を集約するデータベースを構築する。	10,829		
2	カスタマーデータ活用事業	データベースを活用した情報発信やマッチングを行うため、食品バイヤーや消費者に関するデータの収集等を行う。	13,367		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			24,196	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他			26		
一般財源			24,170	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	データベースに登録した食品事業者数(事業者)【業績指標】									
指標式	データベースに登録した食品事業者数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								150	40	40
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	首都圏企業等とのマッチングによる成約件数(件)【成果指標】									
指標式	中食・外食企業等との成約件数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								163	166	170
実績b						155	166			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
施策の方向性	② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大			
事業名	スポーツツーリズム推進による交流拡大事業	事業年度	R6	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	
チーム名	調整・スポーツ活性化チーム			

1 事業実施の背景及び目的

トップスポーツチームを始めとした本県にゆかりあるスポーツコンテンツを活用し、冬季誘客を柱とした情報や魅力を多様なスポーツファン層に広く発信し、スポーツと観光・食・文化等が融合したスポーツツーリズムを推進することで、交流・関係人口の拡大を図る。

2 事業概要及び財源

(単位: 千円)

	事業内訳	概要	令和6年度 予算額	令和5年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	スポーツチームを活用したアウェーツーリズム推進事業	アウェー会場で主に冬季誘客に向けたPRを行い、秋田県の露出度及び認知度を向上させることにより、アウェーツーリズムを推進する。	1,472		
2	スポーツ大使を活用した誘客促進事業	秋田県スポーツ大使と連携し、選手が所属する球団のファン感謝デーへの出展及び冬季誘客コンテンツの作成により、秋田県の食・観光PRを実施する。	5,531		
3	スポーツ合宿推進事業	県外の団体が実施する県内でのスポーツ合宿に対して支援をすることで、スポーツを通じた交流推進、地域の活性化や交流人口の拡大を推進する。	2,000		
4	スポーツツーリズムデータマネジメント活用事業	県外から観戦に訪れたサポーターに対し、試合日前後の観光動向等の調査を行い、スポーツを契機とした県内観光に関する認知や地域活性化への影響を検証する。	1,000		
5	トップスポーツチームを活用した誘客促進事業	県内トップスポーツチームが県内誘客を目的に実施する観光・食・文化等の情報発信に要する経費の一部を補助することで、アウェーツーリズムを推進する。	29,190		
その他合計 (2 件)			8,492		
財源内訳			47,685	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他 寄付金			4,300		
一般財源			43,385	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	スポーツ合宿推進事業補助件数(件)【業績指標】									
指標式	スポーツ合宿推進事業補助件数									
出典	スポーツ振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								1,400	1,500	1,600
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	ホーム会場来場者数(人)【成果指標】									
指標式	ホーム会場来場者数									
出典	スポーツ振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								194,000	195,000	196,000
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
施策の方向性	② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大			
事業名	第51回東北総合スポーツ大会開催事業	事業年度	R6 R6	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	
チーム名	スポーツプロジェクトチーム			

1 事業実施の背景及び目的

東北地区のスポーツを振興し、地域住民の体力増進を図るとともに、各県の親善と交流を深め、もって健康で文化的な生活の確立に寄与するため、昭和46年の第1回岩手県大会以来、東北6県の持ち回りで開催する東北地区最大のスポーツイベント。令和6年度は秋田県内を会場に37競技を実施する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和6年度 予算額	令和5年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	第51回東北総合スポーツ大会開催事業	秋田県実行委員会を設置して大会を運営する。	39,650		
2	大会会場仮設費	競技運営に必要な機器、及び安全・安心な競技運営を行うために必要な冷房設備を仮設で整備する。	4,992		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	44,642	0	0
国庫補助金					
県債					
その他		(公財)日本スポーツ協会助成金、各県負担金、参加料等	35,050		
一般財源			9,592	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a										
実績b										
b/a										

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

本大会は「国民体育大会東北ブロック大会兼東北総合体育大会開催基準要項」により大会運営方法等が定められていることから、本県独自の指標設定になじまないため。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

平成29年度に開催された前回の秋田大会では選手役員等約5,900人が参加し、経済波及効果は約447百万円との試算(県の統計資料に基づく試算)であった。本大会においても同等以上の効果が見込まれる。